

1つのアカウントに複数のIDを紐付ける

ここではmAPのアカウントに複数のIDを紐付ける方法を解説します。
以下の手順では「紐付け先」として新しいIdPのID、「紐付け元」として従来のIdPのIDを想定しています。

! 通常この操作は必要ありません！あなたが学認参加の2つ（もしくはそれ以上）のIdPにIDを持っており、そのどちらでもmAP上の同一アカウントとしてログインしたい場合のみ以下の操作を行ってください。
再度警告します。この操作を行うと、2つのアカウントを別々の役割（ロール）として別個のグループに所属させることができなくなります。
十分考慮の上、問題ない場合のみ以下の操作を行ってください。

1. 紐づけ元のIDでログインします。
2. 上部メニューバーの「アカウント名」（「〇〇さん」となっている部分）をクリックし、アカウント設定ページを開きます。
3. 画面下部にあるアカウント紐付け項目の「別のIDに紐付ける」をクリックします。アカウントの紐づけは複数のステップにおいて構成されますのでステップごとに説明します。

アカウント設定	
使用言語	日本語 ▾
氏名 必須	日本語 <input type="text" value="〇〇 〇〇"/>
	English <input type="text" value="XXXX XXXX"/>
メールアドレス 必須	<input type="text" value="xxxxxx@nii.ac.jp"/>  OK
所属	日本語 <input type="text" value="デモ大学"/> 登録所属機関から選択 <input type="text" value="自分の所属を選択してください"/> ▾
	English <input type="text" value="Demo University"/> 登録所属機関から選択 <input type="text" value="自分の所属を選択してください"/> ▾
自己紹介	日本語 <input type="text"/>
	English <input type="text"/>
送信される属性の同意	同意内容を変更する
アカウントの紐付け	別のIDに紐付ける

[保存](#) [キャンセル](#) [削除](#)

4. 「ステップ1」では、紐付け先のIDでログインし直すための画面が表示されます。
「ログアウト」ボタンをクリックしてログアウトし、紐付け先のIDでログインし直してください。



新しく紐付けたいIdPを選択してください。ここでログインに使用したものと同じIdPおよびIDを入力すると安全のため強制ログアウトされます。

アカウント

ステップ1

アカウントの紐付けを行います。詳しくは [メンバー / アカウント情報を変更する / 1つのアカウントに複数のIDを紐付ける](#) をご参照ください。

・紐付けをすることで、複数のIdPのIDを1アカウントとして使用することができます。

・まず下記からログアウトし、紐付け先のIDで再度ログインしてください。

※アカウントの紐付け操作には有効時間があります。紐付け完了まで、3分以内に終わらせてください。

※有効時間超過や同一IDの紐付けなどのエラーが発生した場合もしくは途中でキャンセルした場合は、安全のため自動的にログアウトされます。

※同一IdPの別のIDに紐付ける場合は、実行前にIdP側のセッションを破棄してください。

※アカウント紐付けの処理において、ブラウザにエラーが表示される場合には所属機関IdPでForce Authentication機能が無効化されているもしくは非対応である可能性があります。エラーの詳細についてはFAQをご参照の上、所属機関のIdP管理者へお問い合わせください。

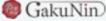
ログアウト

キャンセル



Gateway Service

- ① 「学認クラウドゲートウェイサービス」ではあなたが利用可能なサービスを一覧でき、カスタマイズもできます

所属機関: 

所属している機関を選択 

ブラウザ起動中は自動ログイン [リセット](#)

学認クラウドゲートウェイサービスは[利用規程](#)に基づいて運用されており、学認クラウドゲートウェイサービスをご利用された時点で本規程に同意されたものとみなされます。ご利用前に[利用ガイドライン](#)を必ずお読みください。

なお、OpenIdP含め利用申請されていない機関所属の方は後述の通りグループ機能のみ利用可能です。該当する方は利用規程の解釈が異なりますので[グループ機能利用ガイドライン](#)をお読みください。

5. 「ステップ2」では、あなたがアカウント所有者であることを確認するため、紐付け元のIDで再度ログインします。「ログアウト」ボタンをクリックしてログアウトし、紐付け元のID（このセッションを開始するときのログインに使用したIdPおよびID）でログインしてください。



ここでログインに使用したIdP・IDと異なるものを指定した場合は、安全のため強制ログアウトされます。お手数ですが再度最初のステップから実行してください。

アカウント

ステップ2

下記からログアウトし、紐付け元のIDで再度ログインしてください。

※同一IdPの別のIDに紐付けようとしている場合は、再度IdP側のセッションを破棄してください。

※アカウント紐付けの処理において、ブラウザにエラーが表示される場合には所属機関IdPでForce Authentication機能が無効化されているもしくは非対応である可能性があります。エラーの詳細についてはFAQをご参照の上、所属機関のIdP管理者へお問い合わせください。

ログアウト

キャンセル



- ① 「学認クラウドゲートウェイサービス」ではあなたが利用可能なサービスを一覧でき、カスタマイズもできます

所属機関: 

所属している機関を選択 

ブラウザ起動中は自動ログイン [リセット](#)

学認クラウドゲートウェイサービスは利用規程に基づいて運用されており、学認クラウドゲートウェイサービスをご利用された時点で本規程に同意されたものとみなされます。ご利用前に利用ガイドラインを必ずお読みください。
なお、OpenIdP含め利用申請されていない機関所属の方は後述の通りグループ機能のみ利用可能です。該当する方は利用規程の解釈が異なりますのでグループ機能利用ガイドラインをお読みください。

6. 紐付け先のIDで学認クラウドゲートウェイサービスにすでにアカウントが作成されている場合は「ステップ3」が表示されます。「ステップ3」では、登録されているアカウント情報のうち残したいものを選択して、「統合実行」をクリックしてください。

アカウント

ステップ3 (最終)

下記のアカウント情報で統合を実施します。
利用する項目を選択し、統合実行ボタンをクリックしてください。

ePPN	demo1@nii.ac.jp demo2@openidp.nii.ac.jp
ePTID	https://demo-idp.gakunin.nii.ac.jp/developer/shibboleth!https://cg.gakunin.jp/shibboleth-sp!XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX
氏名 (日本語)	<input checked="" type="radio"/> ○ ○ ○ ○ <input type="radio"/> △ △ △ △
氏名 (英語)	XXXX XXXX
メールアドレス	xxxxxx@nii.ac.jp
所属 (日本語)	デモ大学
所属 (英語)	Demo University
使用言語	日本語
自己紹介 (日本語)	
自己紹介 (英語)	

統合実行

キャンセル

7. アカウント設定ページに戻り、IDの紐付け（アカウント統合）は完了となります。
IDの紐付け後は紐付け先、紐付け元のどちらのIDでもログインすることができますが、どちらでログインしても同一アカウント、つまり設定できるアカウント情報は一つとなります。

アカウントを紐付けました。

アカウント設定

使用言語	日本語 ▾					
氏名 必須	日本語 <input type="text" value="〇〇 〇〇"/>					
	English <input type="text" value="XXXX XXXX"/>					
メールアドレス 必須	<input type="text" value="xxxxxx@nii.ac.jp"/>  <input type="button" value="OK"/>					
所属	日本語 <input type="text" value="デモ大学"/> 登録所属機関から選択 <input type="text" value="自分の所属を選択してください"/> ▾					
	English <input type="text" value="Demo University"/> 登録所属機関から選択 <input type="text" value="自分の所属を選択してください"/> ▾					
自己紹介	日本語 <input type="text"/>					
	English <input type="text"/>					
	200文字以内					
送信される属性の同意	同意内容を変更する					
アカウントの紐付け	別のIDに紐付ける					
	<table border="1"><thead><tr><th></th><th>ePPN/ePTID</th></tr></thead><tbody><tr><td>NII IdP</td><td>demo1@nii.ac.jp https://demo-idp.gakunin.nii.ac.jp/developer/shibboleth!https://cg.gakunin.jp/shibboleth-sp!XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX</td></tr><tr><td>OpenIdP</td><td>demo2@openidp.nii.ac.jp 紐付け解除</td></tr></tbody></table>		ePPN/ePTID	NII IdP	demo1@nii.ac.jp https://demo-idp.gakunin.nii.ac.jp/developer/shibboleth!https://cg.gakunin.jp/shibboleth-sp!XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX	OpenIdP
	ePPN/ePTID					
NII IdP	demo1@nii.ac.jp https://demo-idp.gakunin.nii.ac.jp/developer/shibboleth!https://cg.gakunin.jp/shibboleth-sp!XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX					
OpenIdP	demo2@openidp.nii.ac.jp 紐付け解除					

保存

キャンセル

削除



アカウント統合を行った場合、紐付け元アカウントと紐付け先アカウントの同意事項が統合され引き継がれます。いずれかのアカウントで同意済みの「送信される属性の同意」情報は紐付け後にすべて同意となります。

※ 2023/08/02以前にアカウントを紐付けた場合は「送信される属性の同意」情報は引き継がれておりませんので、必要に応じてアカウント設定から「送信される属性の同意」情報を更新してください。

i 一度紐付けを行うと、アカウント設定ページの「アカウントの紐付け」に紐付けられているID一覧が表示されるようになります。「紐付け解除」をクリックすることで現在**ログイン時に使用したもの以外のID**の紐付けを解除することが可能です。「紐付け解除」したいアカウントで意図したものが表示されない場合には別なIDでログインをし直してください。

現在ログイン時に使用したID以外については、「紐付け解除」をクリックすることでIDの紐付けを解除することが可能です。解除したいIDに「紐付け解除」が表示されない場合は別のIDでログインし直して再度ご確認ください。

i アカウント紐付けの処理でエラーが出る場合は所属機関IdPでForce Authentication機能が無効もしくは非対応である可能性があります。詳細は以下を参照してください。
⇒FAQ#IdPで認証時にブラウザに「SAML response reported an IdP error」というエラーが出力されます

[メンバーに戻る](#)
[Homeに戻る](#)